

後宮鈔

22
4596
7



後
宮
鈔

後宮鈔
續錄



天 2
4596
7

去
五味均平
藏



藤原某

權大納言實明女
宣光院妹

中納言局

藤原某

從三位賴任女

帝王系圖花園院才二皇女母別當典侍賴任女

日本史上載
二〇五

皇女某

龜山院天皇皇女

帝王系圖後醍醐院才十四皇子恒性大覺寺越中宮母

龜山院皇女

諸門跡譜恒性越中宮後醍醐院皇子後宇多院孫母龜山

院皇女

中納言典侍

藤原親子

參議宗親女

帝王系圖後醍醐院才十三皇子母中納言典侍親子宗

親女

大納言局 藤原為子

權大納言為世女

帝王系圖後醍醐院第一皇子尊良親王母贈從三位為子權

大納言為世女

增鏡

秋の山巻

當代も又志きまの乃もてあせたる人をいつ

うとねわせらるる前藤大納言為世うけ流りえる玉葉
の祇りりやいしまるむあきぬらんこの大納言
の女權大納言の君と坊の時ふきりあくねわされし
りし腹よ一の御子女この見こ法親王あにあま物
之位おくらせ給ふ賜從三位ありと集りもやさ
き哥ねわ侍

藤原実子

左大臣実泰女

帝王系圖後醍醐院第十一皇女母一品実子山階左大臣

女

帝王系圖後醍醐院第十二皇女母大納言局實雄公女

藤原守子

左大臣実泰女

帝王系圖後醍醐院第十三皇子玄圓法親王母從二位守子後山本

左大臣女

諸門跡譜玄圓法親王後醍醐院第十三皇子母後山本

大臣実泰公女

民部三位局 源親子

權大納言師親女

帝王系圖後醍醐院才六皇子護良親王母民部三位大納言

源師親女

諸門跡譜尊~~法~~親王後醍醐院皇子女民部卿三位大納

言師親卿女

少將内侍 菅原某

正三位在仲女

帝王系圖後醍醐院才十皇子聖助法親王母少將内侍菅原

仲女

少納言内侍 藤原某

大納言隆資女

帝王系圖後醍醐院才九皇子僧真真女納言内侍隆資

女

大納言三位局 藤原某

左衛門少將若道女

帝王系圖後醍醐院才十一皇子法仁法親王母權大納言三位局

为道朝臣女

大納言曲侍 藤原集

大納言師直女

増鏡

秋の巻

肉は万里小治大納言入道師直とらひ女大

納言の曲侍とくくみうとくみあく人あるを堀川春宮

の權大夫ともしらの志のひて見らめらせけるや
かの女かきけらうせぬとともあつひせけり二三日
ころあまほもあくうの人とあらはせぬけり色いとあ
まのくにくくとねらぬやんともあまききとらへ
あらと抑ねらその時あまはききくともあませけ
ひてけよすまのうらもつひもあまききとねらと
まけきとともあまききとつひもあまききとねらと
かきせせけりてかききききききききききききき
にあめりすあまききききききききききききき

をせしうらんとゆりてけりせけきとねらひい
すまきききききききききききききききききき

一條局

參議實俊女

帝王系圖後醍醐院才二皇子子世良親王母三木實俊女
遊我門院一條

諸門海譜靜尊法親王後醍醐院皇子母右參議實俊
マ女

某

基時女

帝王系圖後醍醐院才九皇女母基時朝臣女

近衛局

帝王系圖後醍醐院才十七皇子母昭訓門院近衛

權中納言局 藤原某

權大納言某女

帝王系圖後醍醐院才八皇女母後宇多院權中納言局

民部局

帝王系圖後醍醐院才十皇女關白基顯公室母民部局

左衛門督局

為忠女

帝王系圖後醍醐院才六皇女母遊我門院左衛門督局
為忠女

坊門局

帝王系圖後醍醐院才十三皇女母坊門局

此分より

帝王系圖後醍醐院才十四皇女母後室町院

後村上天皇

從二位

教子

新葉集

世泰親王かくもをせ給ひて如意輪寺よをせ侍

又の年從二位教子のてらより侍けるよ

佛事のことあると松風よたふひてきこえ

けは法流をせける御制衣松のけをたふひやると

けきよ代もといひ君の心よ御返一從二

位教子松のけよ松のちとせの友ありてたえぬあけ

きのうけをえんとは

光嚴院天皇

對御方藤原某

權大納言公蔭女

帝王系圖光嚴院皇子正親町宮母徽安門院一條後對御方公蔭卿女

崇光院天皇御侍

源資子

權大納言重資女

尊卑分脈 源重資女崇光院御侍從三位資子号杉殿榮

仁親王母儀

帝王系圖 崇光院皇子榮仁親王母重資女

崇光院天皇

少納言内侍 橘某

從三位以繁女

右衛門佐局 不詳姓氏

伯耆殿局 藤原某

日滿院大夫法師長快女

二品局 藤原某

權大納言隆名女

後醍醐院天皇

御中侍 藤原今子

權大納言隆卿女

帝王系圖
後圓融院皇子道朝法親王母從三位今子從一位隆卿卿女

後山松院天皇

藤原其

後土御門院天皇

從二位

兼子

贈大臣

女

帝

系圖後土御門院才三皇子仁尊法親王改仁悟母從二位
鳳栖院贈太政大臣女

從三位 藤原房子

贈左大臣教秀女

帝王系圖 後土御門院才五皇子大慈院母從三位房子贈左府
教秀女

後柏原院天皇
贈從二位

源源子

從一位雅行女

帝王系圖 後柏原院才二皇子覺道法親王母贈從二位源
子從一位源雅行卿女

掌侍

継子

中納言永継女

帝王系圖 後柏原院才四皇子 僧道喜母 掌侍 継子 入道
中納言永継女

後奈良院天皇

伊豫局

小槻某

小槻雅久女

帝王系圖 後奈良院才一皇子 僧寬恕母 伊豫局 小槻雅
久宿禰女

典侍

藤原量子

權大納言永家女
實參議以諸女

帝王系圖 後奈良院才三皇女 安禪寺母 權大納言藤原
永家女 典侍 量子 實三木橘以 諸卿女

從三位 藤原國子

內大臣兼秀女

帝王系圖 後太子良院才四皇女 聖王秀 母從三位藤國子
內府兼秀公女

正親町院天皇
大曲侍 藤原某

參議賢房女

帝王系圖 正親町院皇女母大曲侍參木賢房之女

目々曲侍

權大納言雅綱女

帝王系圖 正親町院皇女目々曲侍權大納言雅綱之女

帝王系圖陽光院皇女母典侍權大納言為益々女

陽光院贈太上天皇
典侍 某

權大納言為益女

後陽成院天皇

大典侍 藤原親子

大納言康親女

御系譜後陽成院皇子覺深法親王俗名良仁母大典侍親子中山大

納言康親親稱女

御湯殿上日記天山十六年五月五日けさ大親すけとの親の親や

の御親かしたん親や親もく中山親中將へきあより親御

出ありかいまきの御親う親まわ親る

大典侍 藤原輝子

大納言輝資女

御系譜後陽成院皇子尊性法親王俗名良敦母藤大典侍従三位輝

子日野大納言輝資親女

三位局 某

春日社司胤_采女

御系譜 後陽成院皇女 母三位局春日社司古市播磨守胤

采女 皇女_采母同上 道晃法親王母同上

諸門誦譜 道晃法親王 後陽成院皇子 母三位局古市播磨

守胤采女

同頭書胤采女始遍源高山生實相院義尊山滿院常

尊高山卒後仕後陽成院生道晃

土佐局 大中臣某

從三位時廣女

御系譜 後陽成院皇子 道周法親王 母土佐局春日神主中東

從三位大中臣時廣_采女

統紹運錄 土佐局 延寶八年八月十七日卒 皇女樹院

後水尾院_{天皇} 一位局 藤原某

大納言公遠女

御系譜 後水尾院皇女 母一位局 始祢御子津御料人 又大納言典侍 四

土大納言公遠卿女

帥局 藤原某

中納言氏成女

御系譜 後水尾院皇女 母帥局 始祢_号小倉衛局 水無瀬中納言氏成_采女

權中納言藤原某

大納言季継女

御系譜 後水尾院皇子尊光法親王俗名良賢 母權中納言局 四辻大納言季継

女

後西院天皇

東三條局藤原共子

大納言共綱女

御系譜 ~~華仁~~ 後西院皇子幸仁親王母東三條局 初中納言典侍 後号新大納言 清閑寺大納言共綱女 共子群方 親展延運

權典侍局源某

中納言具起女

御系譜 後西院皇子永悟法親王俗名貴平 母權典侍局 岩倉中納言 具起女

右京局 藤原某

從三位賴直女

御系譜後西院皇女 母中内侍局 富少路從三位賴直女後号
右京

古條局 藤原定子

中御言定矩表長女
實佛光寺々家清院女

御系譜後西院皇女 母古條局贈正三位藤定子 梅小路中御言
定矩女 實佛光寺々家清院女 後号貞松院 群古歌
張給延

按察使局 菅原某

大御言豊長女

御系譜後西院皇子道尊法親王 母按察使局 高辻大御言豊長
女

山小路局 藤原某

准大臣宗條女

御系譜後西院皇子 母山小路局 松木准大臣宗條公女

西元院天皇

廿藤大典侍 藤原某

從一位俊廣女

御系譜西元院皇女憲子内親王 母藤大典侍局 坊城一位俊廣女

女

統紹運録藤大典侍延宝四年七月廿九日卒廿五歳葬淨萃院

号麗光院

中納言典侍 藤原某

大納言實起女

御系譜西元院皇子濟深法親王俗名寬清 母中納言典侍局 小倉大

幼言實起女

源内侍

源某

大幼言通福女

御系譜靈元院皇子寬隆法親王

俗名師永

母源内侍局 安右大御

言通福女

統紹運録源内侍天和元年十月十三日卒青澄院松巖寺貞

管中納言局 菅原庸子

大幼言為庸女

御系譜靈元院皇子 母管中納言局庸子 五條大幼言為庸

女

統紹運録少將内侍改管中幼言局後号宝樹院

多奈井小洛局 平某

三位時良女

御系譜靈元院皇女 母多奈井小洛局 西洞院三位時良女

帥局 源某

參議通庸女

御系譜靈元院皇子 母帥局 東久世宰相通庸女
近代紹運録帥局始源中將東久世宰相通庸女

藤式部局 藤原某

中幼言定淳女

御系譜靈元院皇子尊昭法親王 俗名鹿賢 母藤式部局 今城中

幼言定淳女

統紹運録藤式部局後号清凉院

中將局 安信某

從二位泰貞女

御系譜靈元院皇子母中將局 倉橋從二位泰貞女
近代詔運錄中將局始小左京

藤三位 藤原某

民部權大輔相尚女

御系譜靈元院皇子母右兵衛局 後藤三位 入江民部權大輔
相尚朝臣女

新大納言局 藤原某

中納言為條女

帝詔 運錄靈元院皇子道仁法親王 俗名盛永 天台座主實伏見貞

致親王子唯母新大納言局藤谷中納言為條女

右衛門佐局 某

中納言兼具猶子
非藏人 重敦女

御系譜靈元院皇子藏仁親王母右衛門佐局 始号柏木又号伊
勢局 上北面松室能登守妹 非藏人松室備中秦重敦女 岩
倉中納言兼具猶子

統緒運錄右衛門佐局正德五年五月十日為中納言

少納言局 某

前參議通晴猶子
上北面 重仲女

御系譜靈元院皇子尊胤法親王 俗名榮貞 母少納言局 始東洛又号玉垣

上北面松室肥後守秦重仲女愛宕前宰相通晴猶子
統緒運錄少納言局号取光院

小女將局 秦某

三位相忠女

御系譜
靈元院皇女 大聖
母小女將局始号小侍從
松尾社家南三
位秦相忠女

東山院天皇

春日局 藤原經子

參見前卷養女
實中納言為經女

御系譜東山院皇女公寬法親王 俗名有定 母藤内侍局後号春日局

享保十六年六月七日從三位經子号永壽院 冷泉中納言為經
女 水无瀬宰相兼豐中養女

勾當掌侍 菅原某

大内記長量女

御系譜東山院皇女 母勾當内侍 始管内侍后号桜井局后号
陽春院 高辻大内記長量朝臣女

山川西表新樂也
崇徳大内記

哇貳百之貳奉願新也
上御内記哇貳百中上御女 廿四嵯峨藤原
土井重太有受贈此之女子合平前受轉
今雖蒙立大内記二内記向哇貳百山川西士

中御内院天皇

民部中典侍 藤原石子

大内言實業女

御系譜中御内院皇子公遵法親王

俗名保良

母民部中典侍局藤石

子 清水谷大内言實業女 始号權典侍 享保二十年九月

二日卒去 延亨二年八月廿六日贈正三位 消息

女昔今雖蒙立大内記二内記向哇貳百山川西士
合正人之女 廿五入

表數

廿四嵯峨

宰相侍 藤原某

大纳言基勝女

御系譜中御門院皇子忠譽法親王俗名忠篤母新曲侍局後

改宰相侍号是心院園大纳言基勝女

大納言

士申四十歳

文曆十一年出仕

士籍

源内侍 源某

前中纳言通夏女

御系譜中御門院皇女 母源内侍局 久世前中纳言通夏女

女 享保十九年七月五日卒号妙色院

送葬状

别當曲侍 藤原某

中纳言为範女

御系譜中御門院皇子遵仁法親王俗名寛全母别當曲侍局 五

條中纳言为範女 一本云号景光院

葛浦少洛局 藤原聰子

前大御言公聰女

御系譜光格天皇皇女大聖王

母葛浦少洛藤聰子

姉少洛前大御

言公聰女

十一等出仕奉命
即立申羊二月廿日文曆

大御青

主申四十歳

又大御忠三羽立

叔御曲侍 藤原正子

前大御言基理猶子
實三位保秀女

御系譜光格天皇皇子母督曲侍藤正子

園前大御言基理

猶子 實高野三位保秀女

新内侍 菅原和子

勘解由長官益良女

御系

譜光格天皇皇子盛仁親王

母新内侍和子

東坊城

勘解由長官益良女

寬政七年十月廿八日被召出 同八

年十月五日祿新内侍

文化八年四月廿八日卒号普照光

院

小侍從局 藤原明子

治部之負直女

御系譜光格天皇皇女 母小侍從藤原明子 富小治部之負直

女

女

右次段 御申取

東京府 土井重太郎 受給 九ノ月廿日 御系譜 藤原明子 二回

壬申四月廿九日

藤本重吉 母

東京之金林寺二丁目

家範 壬申三月十日

仁孝天皇御侍

按察使御侍 藤原妍子

從一位國長女

御系譜仁孝天皇皇女 母按察使御侍 藤妍子 甘露寺一位國長女

土井重太郎 受給 九ノ月廿日 御系譜 藤原明子 二回

馬内侍 藤椿子

中御言定成女

御系譜仁孝天皇皇女 母馬内侍藤椿子 今城故中御言定成女

新典侍 藤原経子

大御言 実久女

御系譜 仁孝天皇皇子 母新典侍 藤原経子

橋本所 大御言

実久女

九夏人 姓 藤原 氏 藤原 氏 藤原 氏 藤原 氏 藤原 氏

藤原 氏

大御言 藤原 氏

大御言 藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

藤原 氏

龜山院天皇皇妃

昭訓門院 藤原瑛子

大政大臣實兼女
永福門院妹

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

藤原實兼

編年記藤原瑛子昭訓門院後西園寺入道大相國實兼公第二

女正安三年三月十九日院号今日准后

女院部類昭訓門院瑛子西園寺大政大臣實兼公第一女母從

一位源顯子內大臣通成公女龜山院妃文永十一年月日誕生

正安三年正月十六日入法皇宮^{二十}同年三月十六日從三

位同月十九日院号今日准后嘉元三年九月廿一日

出家^{三十三歲法}正元二年^三嘉元三年六月廿六日山崩

謚号雜記昭訓門院瑛子實兼公女龜山院后恒明親王母正安三

年三月十九日院号嘉元三年九月廿一日剃髮法名真性覺

皇記雜記昭訓門院藤原瑛子入道太政大臣實兼女母內大臣通成

龜山院天皇典侍

高倉局 藤原稚子

從二位雅平女

要記龜山天皇皇女壽子內親王母高倉局從二位雅平

御女

帝王系圖

大納言典侍

藤原某

中納言實平女

編年記龜山院皇子覺雲法親王天台座主利本戒菩提院母

三條中納言實平御女

増鏡老の波の巻

利本青蓮院法親王母大納言典侍の御腹

帝王系圖

帥忠侍 平某

兵部時仲女

編年記龜山院皇子順助法親王聖護院御弟子女兵部に
入道平時仲女

増鏡老の段
の巻 十樂院為道法親王帥忠侍後の腹

帝王系圖

藤原禊子

左大臣実雄女
宗極院妹

要記龜山天皇皇女班子内親主母從二位禎子實雄公女

増鏡老の段
の巻 故皇后宮の中腹うらの中乃君も清おもひけや

わよひうらんとあつりさよ志のひして祢んころよの

うはまわらせこそまわり後へ事といもあつて姫宮

一雨もつりとりして後へ事いもあつてや

帝王系圖

京極局 藤原壽子

大膳大夫景房女

編年記 龜山院皇子定良親王出家法名叡雲梶井弟子女

京極二位景房女

要記 龜山天皇皇子定良親王母京極局景房女

帝王系圖 龜山院第十一皇子叡雲法親王母讚岐局壽

子大膳大夫藤原景房女

増鏡老の波 大宮女院は讚岐とくさつらひ 西園寺の御家

のもの景房といひ 女ありいゝ ねわいてこも
めとりて西園寺に 乃ウ子ありて 二品の加階
給りしものありまはし給ひし

次皇子 未詳姓氏

帝王系圖

藤原某

丹大臣公親女

編年記 龜山院皇子良助法親王青蓮院号常壽院母内

大臣公親公女

又龜山院皇子性惠法親王綾山洛母公親公女
帝王系圖

藤原某

權中納言實任女

要記龜山天皇皇子守良親王母實平卿女

室千一日本史

帝王系圖龜山院第五皇子守良親王母中納言實任女

女

民部口局

藤原某

權中納言雅藤女

帝王系圖龜山院第二十皇子道澄法親王母民部口局

雅藤口女

藤原某

權中納言公雄女

帝王系圖龜山院第十八皇子恒雲法親王母中納言公雄女

女

權大納言局

源某

左近衛少將宣通女

要記龜山天皇皇子性覺法親王母宣道女

皇胤系圖少將源宣通女

編年記龜山院皇子性覺法親王母滿院号拍言母大納言

局少將入道通信女

諸門詠譜性融法親王龜山院皇子女后左少將通能女

帝王系圖龜山院第十三皇子性覺法親王母左少將通能女

以下上点ヨク思
推ス

五條院

暲子内親王

後媛城院天皇皇女

増鏡

老の波

故院

の位の

時

勾當

の内侍

といひ

り

腹

よいて物

一

孫へ

姫宮

のち

は

五條院

と

ま

え

い

の

お

ほ

と

あ

り

い

と

さ

の

ま

よ

か

く

ま

り

ま

り

を

新

院

あ

て

こ

の

い

ま

え

は

ま

り

の

草

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

ま

り

の

ま

り

を

い

て

ま

り

の

某

俊光室

帝王

系圖

龜山院

第廿三

皇子

僧寬

融

寬尊

法親王

直任

正直任

權大僧都

大覺寺

院号

西

母俊光

室

某

帝王

系圖

龜山院

第廿二

皇子

僧尊

推言

通世号

報恩

母安嘉門院

謚号

雜記

永嘉

門院

瑞子

連安

四年

宗尊

親王

女正

安四

年正月

廿日

院号

一條局 藤原某

參議實俊女

要記後宇多天皇皇子良治親王母參議實俊女
帝王系圖後宇多院第五皇子性勝法親王母一條局
三木左中將實俊女

藤原某

參議實親女

帝王系圖

伏見院天皇
三條局 藤原某

權大納言實明長女

帝王系圖伏見院第七皇子道愨法親王母東御方三位殿實
明女

藤原英子

權中納言公宗女

要記伏見天皇皇女譽子內親王母中納言女公宗

女院記章義門院譽子伏見院第二皇女母中納言公宗一女

從三位藤英子

帝王系圖伏見院第一皇女章義門院譽子母從三位英

子公宗女實雄公孫

播磨內侍

俊衡女

帝王系圖伏見院第六皇子尊圓法親王俗名守彦母播磨

內侍俊衡朝臣女

權大納言局

源某

參議具氏女

帝王系圖伏見院才五皇子尊悋法親王俗名吉永母權大納言

局三木具氏女

春日局

藤原某

參議通茂女

帝王系圖伏見院才八皇子尊灑法親王母春日局茂通

女

治部中局

法印任快女

帝王系圖伏見院才四皇子惠助法親王母任快法印女治部中局号春日局

西沛方

不詳姓氏

帝王系圖伏見院才九皇子僧聖珍母廣我門院西

沛方

後伏見院天皇

對御方

藤原某

權大納言實明女

園大曆和元年六月十五日今日傳聞女房等依召參穴太仙

洞御方各一人上皇御方

新宰相典侍定前之女

法皇御方

中納言典侍隆蔭之妹新

院御方

在位之時勾當外侍

宮御方

對御方故實明之息女

等今日參入云々

帝王系圖後伏見院才十皇子慈真法親王改尊實母對御方實明之女

廊御方

藤原某

權大納言實明女

諸門跡譜長助法親王後伏見院才六皇子母東御方實明之女

小傳章德院院孺子後伏見女母入道大納言實明女

伏見女房号東御方

延元元四一内親王同二准三宮同日院号

女院部類新室町院珣子後伏見院皇女母東御方實明之女

日本史別當
局トアリ
訂ス

堀河局

高階某

從二位那經女

帝王系圖後伏見院才三皇子法守法親王母堀河局高階那經女

治部中局

帝王系圖後伏見院才四皇子尊胤法親王母治部中局

右京大夫局

帝王系圖後伏見院才四皇女母右京大夫局

後二條院天皇尚侍

萬秋門院藤原頂子

攝政實經女

皇紀萬秋門院藤原頂子前關白實經女母中納言平成俊

女元應二二廿六院号元前尚侍同日先准三宮建武

五三廿六崩七十一

謚号雜記萬秋門院頂子實継公女後二條院后元應二

年正月廿八日院号

女院部類萬秋門院頂子圓明寺關白實經公女母中納

言典侍中納言顯俊女文永五年月日誕生嘉元元

乾元年三月五日尚侍三十歲同日從三位德治三年八

月日出家四十歲元應二年二月廿六日准三宮五十歲

同月廿八日院號曆應元建武三年三月廿六日崩七十

増鏡
春の別
の巻

むろの内の侍のかんの後院号ありて萬秋

つねとまゝゆゑも故院のちがひそのまゝすゝ
まはよりあふくあはまけあり

勾當内侍 平某

サ幼言棟俊女

小傳

壽成門院嬬子 後二條一女母勾當内侍女納言平棟俊

女院

記壽成門院嬬子 後二條院才一御女母勾當内侍サ幼言平棟俊女

御匣殿 藤原某

内大臣公親女

要記 後二條天皇皇子永尊法親王母内大臣公親女

諸門跡譜尊濟法親王後二條院皇子母中宮御匣公親女

權大納言局

藤原某

權中納言公泰女

帝王系圖 祐助法親王母權中納言公泰女聖尊法親王

母公泰女權大納言局采子內親王母同聖尊

諸門海護祐助法親王後二條院才三皇子女權中納言公

泰女

藤原某子

參議宗親女

要記後二條天皇皇子邦良親王母參議宗親女

帝王系圖

平某

參議信輔女

帝王系圖 後二條院皇女娉子內親王母三木信輔女

新大納言局

法眼良珍女

帝王系圖 後二條院皇子珉子內親王母新大納言局良

珍法眼女





